

<対策のポイント>

米粉の需要拡大や飼料用米など戦略作物の生産性向上の取組、実需者のイニシアティブのもと、輸出用米・加工用米等の需要に対応するための種子安定供給の取組等を支援します。

<政策目標>

- 米粉用米、飼料用米、大豆、麦等の生産を拡大（米粉用米13万トン、飼料用米110万トン、大豆32万トン、小麦95万トン〔12年度まで〕）
- 需要が伸びている用途（輸出用米、加工用米等）への米の安定供給による経営の安定

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 新たな米粉の表示制度・加工法の普及支援事業

米粉用米の需要が高まりつつある状況を踏まえ、新たに策定したノングルテン米粉の日本農林規格の周知やアルファ化米粉等の新たな米粉加工品の普及等、米粉の需要拡大や米粉用米の生産拡大のための条件を整備する取組を支援します。

2. 戦略作物への作付体系転換支援

生産者、試験研究機関、行政・普及など地域の関係者が一体となって行う生産性の向上に資する技術等の実証等を支援します。

- ・生産コストを低減する飼料用米等の多収品種や直播栽培の導入
- ・連作による地力低下に対応するための麦、大豆等の生産技術の導入

3. 低コスト米等需要対応品種栽培環境整備支援

種子供給を広域連携により効率化させ、多収など需要のある品種の種子を新たに供給する取組、省力・多収栽培技術を広域的・体系的に実証・集積等することで、実需者のニーズに対応した品質・量の米を安定供給する取組等を支援します。

- ・広域連携による需要対応品種の種子供給体制の整備
- ・地域に応じた省力・多収栽培技術の確立・普及

4. 国産大豆の適正取引支援

国産大豆の需要拡大の基盤として、国産大豆の透明かつ公正な取引価格の形成に向けた全国段階の入札の実施に対し支援します。

<事業の流れ>



※ 4の事業は（公財）日本特産農産物協会

【新たな米粉の表示制度・加工法の普及支援事業】

米粉の需要拡大

新たな日本農林規格の周知

米粉の需要拡大、輸出拡大を目的として策定する、ノングルテン米粉の日本農林規格の仕組みや特徴、優位性等の周知



新たな米粉加工品の普及

アルファ化米粉等、新たな米粉の加工法や特徴（油脂や乳化剤、増粘剤の代替）、その使用方法等の日本産米粉の優れた特性について、調査・普及

米粉用米の生産拡大

米粉用米産地の育成

米粉用米生産者と米粉製造事業者とのマッチングを目的とした情報交換会の開催

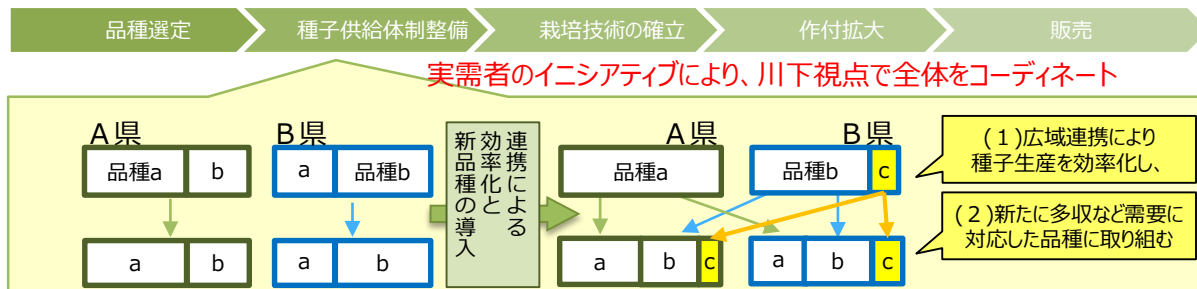


【ミズホチカラ】
米粉パンに適した多収品種

【戦略作物への作付体系転換支援】



【低コスト米等需要対応品種栽培環境整備支援】



【お問い合わせ先】 政策統括官付穀物課 (03-3502-5965)